

事務事業名	若者チャレンジ推進事業(ノウハウ移転推進)	所属部	政策企画部	所属課	政策推進課	
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち<<協働・行政経営>>	所属G	チャレンジ創生G	課長名	鳥谷 健二
	施策名	〈01〉市民が主役のまちづくりの推進	担当者名	武田 遼太	電話番号	0854-40-1011
	目的: 対 象	市民	意 図	まちづくりの課題を主体的に解決する。	(内線)	2332
	基本事業名	〈002〉まちづくりの人材確保	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0:11001 事業名 項 目 中事業 中事業 0:53519 事業名	企画総務管理事業 若者チャレンジ推進事業	
目的: 対 象	市民	意 図	地域社会の担い手になる。			

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H27 年度～ H31 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
若者の課題解決へのチャレンジを事業レベルまで引き上げるため、必要なノウハウを持つ都市圏の社会起業家等と連携し、幸雲南塾生や若者等への「収益事業化(マネタイズ)」や「資金調達(ファンドレイジング)」等のノウハウの移転に取り組む。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R元年度実績(R元年度に行った主な活動) ・地域資源を活用したコミュニティビジネス立ち上げに向けたノウハウの習得支援 ・地方創生の推進アドバイス、中間支援組織の基盤強化支援 ・業務委託等に関する事務 ・地方創生交付金に関する事務 R2年度計画(R2年度に計画する主な活動) ・地方創生の推進アドバイス、中間支援組織の基盤強化支援 ・業務委託等に関する事務 ・地方創生交付金に関する事務					
	② 活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	ア ノウハウ習得支援を行う社会起業家等の数	人・団体	3	4	3	2
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	市内外の志ある若者	ア 市内の20代・30代人口	人	5,548	5,202	4,908	4,908
		イ					
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	課題解決のビジネスモデル化に必要なノウハウを習得してもらう	ア ノウハウを習得した若者等の団体数(人数)	人・団体	21(43)	19(42)	16(57)	16(57)
		イ					
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)	
・委託費 8,531千円(ノウハウ移転)	財源内訳 国庫支出金 千円 4,093 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 4,093 一般財源 千円 事業費計(A) 千円 8,186 正規職員従事人数 人 2 延べ業務時間 時間 200 人件費計(B) 千円 815 トータルコスト(A)+(B) 千円 9,001		4,093	5,483	4,265	3,102	
【内訳】							
・喜代七 4,974千円							
・友廣裕一氏 2,627千円							
・サイ(株) 930千円							
				815	866	848	
				9,001	11,832	9,379	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどうか変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
幸雲南塾等により若者の活動が活発化し、事業化をめざす若者が増えている。	事業成果を検証し、今後、必要な改革改善を継続的に行っていく。	市議会からも若い世代の人材育成に関して積極的に取り組むべきとの意見を頂いている。

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →			
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合 →				
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 地域自主組織、金融機関、産業支援機関等と連携し、より多くの課題解決ビジネスモデルの創出を図りたい。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 総合計画・総合戦略の実現に向けて、若者等の地域課題解決に向けた活動をビジネス化し持続性・継続性を高めていく必要があり、そのための専門スキル・ノウハウの習得支援が必要であるため、廃止した場合、若者チャレンジの推進に大きな影響がある。	
C 効率性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由 専門スキル・ノウハウの習得支援について、類似事業はなく、統廃合や連携は出来ない。商工振興課と連携をとりながら進めていく。	
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 事業成果を出すために必要な事業費積算を行っているため、削減余地はない。	
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 中間支援組織と連携し、最小限の職員数で対応しており、削減余地はない。	
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 事業成果を創出するため、ノウハウ等を必要とする幸雲南塾生や塾生OB等の若者等を対象に実施しており、公平、公正である。	
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	② 改革・改善による期待成果																					
・総合計画・総合戦略の実現に向けて、活動の持続性・継続性を高めるためのビジネスモデル化が必要であり、引き続き、専門ノウハウをもつ社会起業家や中間支援組織と連携し、成果拡大に向けて取り組みを進めていく。 ・幸雲南塾、スペチャレ等のビジネス展開可能な活動を集中的に支援し、地域課題解決ビジネスモデルを創出する。	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;"> 廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。 </p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		